



<北朝鮮核実験事案> 緊急対応チーム会議

2009/05/25

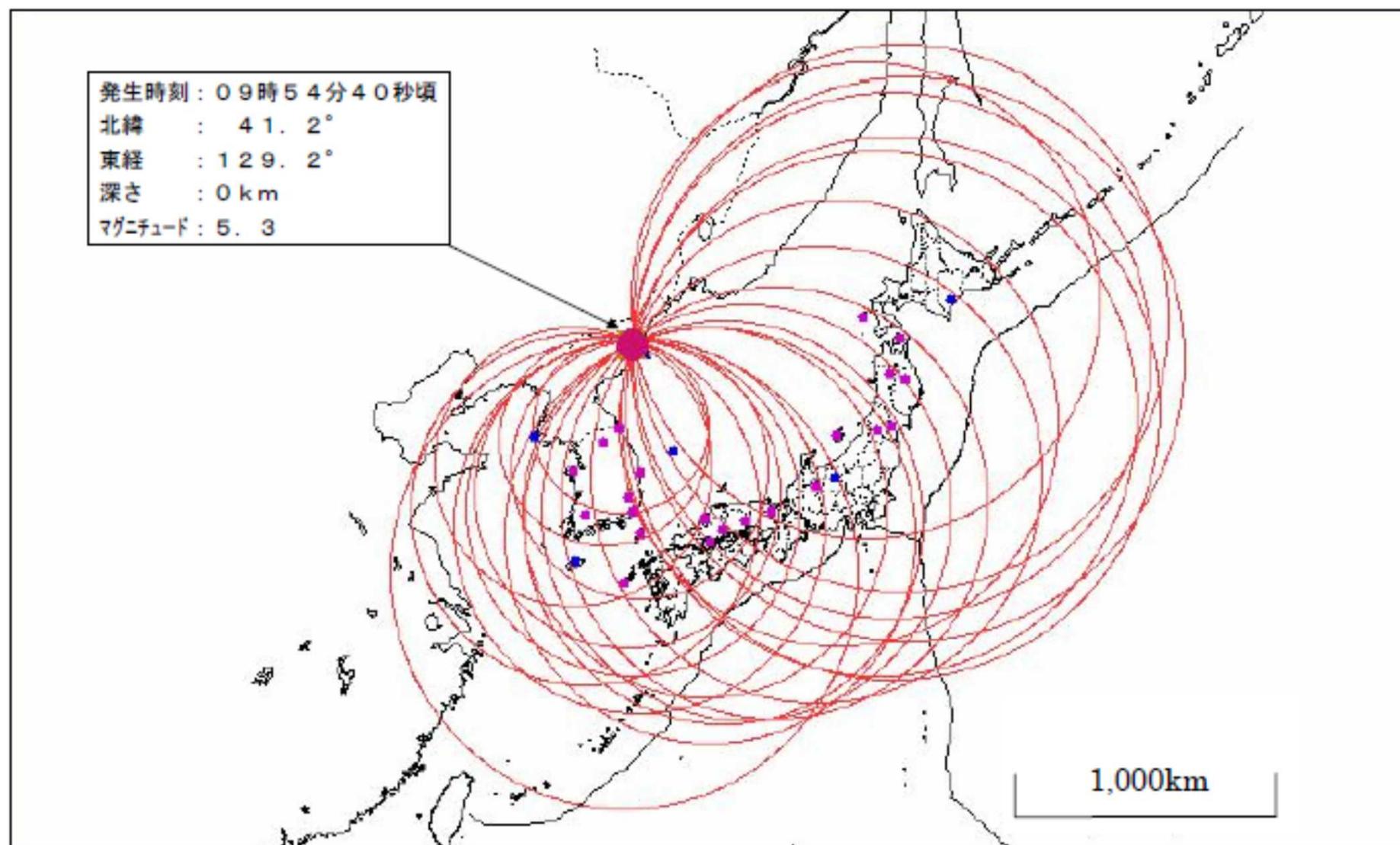
防災局

状況

- 北朝鮮は、国営の朝鮮中央通信を通じて、25日「成功裏に地下核実験を行った」と発表しました。これに先立ち、韓国大統領府は、25日午前9時54分、北朝鮮北東部のハムギョン北道プンゲリ付近でマグニチュード4.5の人工的な揺れが感知されたと発表し、北朝鮮が3年前の10月に続いて、再び核実験を行った可能性があるとのみで、確認を急いでいることを明らかにしました。

(NHK12:09)

09時55分頃の波形により推定される震源の位置



(気象庁HP)

現状

- 国連安保理決議第1695号および第1718号違反
 - 弾道ミサイル発射や核実験の停止
- 第6回6者会合の成果文書の不履行
 - すべての核計画の全かつ正確な申告

現状

- 政府は事実関係を確認中
- 11:45 官邸連絡室設置
(確認されれば、政府対策本部を設置)

(韓国)

- 13:00 緊急の国家安全保障会議を招集

県の対応

- 12:20 市町村等へ連絡
- 12:47 漁業無線局へ一報
- 14:00 緊急対応チーム参集

対応方針

- 情報収集(24時間)
- モニタリング
 - モニタリング車
 - 衛生環境研究所による大気モニタリング
- 県民への情報提供
- 漁船への情報提供

知事コメント

- 北朝鮮の核実験は、せつかく核軍縮へ向かい始めた世界の潮流に逆行するものであり、強い憤りを覚える。
- 安保理など国際社会で即刻こうした暴挙を封じ込めるべきであり、政府も毅然とした対応をとって欲しい。
- 県民の安全を確保するため、県としても必要な情報の収集、漁船等への情報提供に努めるよう指示し、緊急対応チームを設置することとした。

平成21年5月25日